



クラムザッハ最終日、お世話になった皆さんと別れを惜しんで



帰りのバスを見送るクラムザッハの皆さん



町役場前で役場の皆さんとの記念撮影



クラムザッハ以外の都市も訪問。ウィーンでは国連事務局を見学

# 感動と驚き 人々の温かさに触れ また、訪れたい

## ◎クラムザッハでの体験や交流

### 人々の温かさを 実感

みずぐちなおみ  
**水口直美さん**  
(17) 穂高



私は、以前から日本とは違った文化、生活、社会そして日本語ではない言語を体験したいと思っており、クラムザッハの訪問を楽しみにしていました。クラムザッハで一番印象に残ったことは人々の温かさです。クラムザッハの町長さん副町長さんをはじめ、役場の人たちやユースクラブ「Mikado」の人たちみんながにこやかに声を掛けてくれ、とてもうれしかったです。「Mikado」では同じ年ごろの女の子と日本の文化について話すことができました。最初のころは、しっかりと会話できるか、土地になじめるか不安でしたが、副町長さんと一緒にチロルの農家を見たり、役場の人たちと食事したりするにつれて、もっとクラムザッハにいたい、帰りたくないと思うようになりました。今回の旅行を機に、もっと英語力、ドイツ語力を上げて、今回交流したすべての人たちにもう一度会うため、またクラムザッハを訪れたいです。

### 国際社会に対応 できる人に

やまぐちまほ  
**山口真歩さん**  
(18) 豊科



クラムザッハは人口が約5,000人のとても小さな町。美しく雄大なアルプスの山々と広大な草原、色とりどりの家々が立ち並びまるで絵のような風景が広がるのどかな町でした。私が今回交流をさせていただいた皆さんは空港まで私たちを迎えに来てくれて、町長さんをはじめ町全体で手厚く歓迎してくれたことに非常に感動しました。日本では目にできない建築物やスワロフスキー本社などを見学できました。また、同年代の方々の交流で将来について話すこともできました。しかし、自分の思いをなかなか伝えられず、語学力の未熟さを痛感しました。私は将来国際社会に対応できる人になりたいと考えています。今回の交流事業でその意志がより強くなりました。いつかこの経験を安曇野市で生かさればと思います。これからの後輩にもこの事業をつなげていってください。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

### 世界中の人々と 交流を

しのじまかな  
**篠島香奈さん**  
(17) 穂高



私が、オーストリアで感じたことは、チロルは、安曇野と似たような所があり、山がとても近くにあるように見え、建物などは日本と違い統一感がありとてもきれいだと思いました。また、食べ物はすべてがおいしく、毎日の食事が楽しみでした。現地の若者と交流してみたことは、英語がとても重要だということでした。なぜなら彼らはすらすらと英語を話していましたが、私はうまく英語がでてこなく、話したくても話せない。自分の話している英語が通じないなど、もどかしく思ったからです。自分の英語力の無さを痛感しましたが、私にとっては、これから社会に出ていくためには、このオーストリアでの交流は、とても有意義な体験となりました。これからも世界のいろいろな人と交流をしたいと思います。現地では、日本人が働いていて、日本だけでなく、海外にも目を向けるいいチャンスとなりました。

## 訪問を終えて「世界観豊かなグローバル思考を安曇野の子どもたちへ」

今回、同世代との交流を通じて世界観豊かなグローバル思考を持った青少年が数多く育ち、将来活躍され、未来の安曇野市の礎となることを期待します。

また、クラムザッハからの青少年を受け入れる際は、「ぜひわが家へ」と提案してきました。市民の皆さんにもご協力いただけると幸いです。今後、こうした交流を継続できるようにご理解をお願いします。

私にとっても10回以上の訪問で現地に多くの友人もおり、初めての青少年交流に何か役に立てるのではと、率先して団長を引き受けました。参加したすべての高校生が書いてるように、本当に「こころ温まる」歓迎を受けました。これも25年以上続く民間友好交流があったからこそで、あらためて交流を続けられてきたことに感謝申し上げます。

含む青少年12人を友好大使として初めて派遣しました。



訪問団長  
**村上広志副市長**

クラムザッハへ授業のない春休みの時期を利用し、高校生10人を

